

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

「地域に貢献できる農業」を経営方針として掲げます。地域ブランドを環境に配慮した方法で生産するとともに、従業員を熊本県内外から積極採用し、人々が心身ともに健康で豊かな生活を送る手助けをします。そうすることで、農業を通して持続可能な社会を目指します。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	フードロスの削減	イチゴ廃棄削減 2023年0.3t→2026年0.5t ニンニク廃棄削減 2023年0.5t→2026年1t
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	環境に配慮した流通方法の実施	2023年25%→2026年50%
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	通年雇用の従業員採用	2023年10名→2026年15名

<パートナーシップ>

- ・株式会社DAY1→規格外品のマルシェや規格外品を使った加工品等に利用している。
- ・株式会社コープ有機→規格外のイチゴを冷凍し販売している。

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
☒ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	・フードロスの削減 未達理由:規模拡大によって生産量が増えた為。 次回はロス量ではなく、削減量を目標とする。	【イチゴ】2021年1.5t→2024年1.0t 【ニンニク】2021年3t→2024年1.5t	【イチゴ】2024年1.5t 【ニンニク】2024年3t
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	・環境に配慮した生産・流通方法の実施 未達理由:コンテナ出荷はシーズン途中から実施したこと、契約等の兼ね合いで実施不可な取引先があったため未達。ビニール使用期限は汚損等により1年と未達。	2021年減農薬・段ボール出荷・ハウスのビニール使用期限1年→2024年減農薬・コンテナ出荷・ハウスのビニール使用期限2年	引き続き減農薬を実施した。全体の25%をコンテナ出荷。ビニール使用期限は1年と未達。
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	・通年雇用の従業員採用 法人化と規模拡大をしたこともあり、目標は大幅達成できた。	2021年2名→2024年4名	通年雇用従業員 2024年10名

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。